

2014 居住福祉セミナー

民間資源を活用した社会的企業による居住困窮者への支援

～障がいをもつ人を中心に～

趣旨：

いま安心して暮らすための場所を脅かされる人々、居住困窮者が増えています。低所得高齢者、DV 被害者、母子避難者、児童養護施設を退所した若者、更生自立をめざす出所者など枚挙にいとまがありません。障がい者に関しても、これまでの公的福祉による入所型福祉施設はそもそも需要に対して供給がまったくおいつかず、家族の力も限界、多くの精神障がい者が社会的入院を余儀なくされています。

居住福祉セミナーでは、あらためて「住居は人権であり、福祉の基礎である」という原点に立ち戻り、誰もが安心して暮らすことのできるまちづくりにむけて、福祉関係者や住宅関係者、研究者、住民に何ができるのか、民間の実践から学びます。今回は、それぞれ仙台と地元大阪において公的資金に頼らずに、地域内の空きアパートや遊休施設を活用し、障がいをもつ人々をはじめ様々な事情で居住困難におちいった人への居住支援をおこなっている実践者をお招きし、意見を交換したいと思います。

セミナー内容：

◆「居住福祉とは何か」

早川和男さん(日本居住福祉学会 会長)

◆「行政と民間の狭間で～新しい福祉居宅の形成とその展望」

齊藤宏直さん(NPO 法人みやぎ「こうでいねいと」 理事長)

◆「居住困難におちいる障がい者たち～サポーターハウスからみえること」

山田尚実さん(メゾンドビューコスモ／サポーターハウス連絡協議会 代表)

日時:2014年2月8日(土)14:00～17:00

会場:大阪市立大学梅田サテライトキャンパス

6階 103 教室

* 大阪駅前第2ビル内 大阪市営地下鉄梅田駅および JR 大阪駅より3分

参加費:無料

主催:日本居住福祉学会・日本居住福祉学会関西支部

問い合わせ・申し込み先:石川 久仁子(日本居住福祉学会関西支部・大阪人間科学大学)

k-ishikawa@kun.ohs.ac.jp 06-6105-7126(研究室直通)

